

NewsLetter



自治医科大学地域医療オープン・ラボ

Vol.82,Jun,2014

自治医科大学呼吸器内科意見交換会

自治医科大学呼吸器内科 杉山幸比古

当科では5年程前から、日本呼吸器学会総会時（毎年春4月か5月）に合わせて、意見交換会を開催している。自治医大の卒業生の皆さんの中にも、少なからず呼吸器を専門としておられる先生方がいらっしゃるが、実際に交流出来ている方々はごくわずかしかない。そこで、年1回の呼吸器学会には殆どの先生が出席されるので、それに合わせて会を行って交流出来たら、との思いでこの会をスタートさせた。仲々先生方も学会時には色々とお忙しいため、御出席頂ける先生方は限られているが、こういった試みの中で、初めてお目にかかれて、それ以降交流を深めることが出来た先生もおられ、この会の意義はきわめて大きいと考えている。

今年も4月25日から3日間、大阪において総会が開催され、4月26日の夜、意見交換会を行った。今年は医局員7名、卒業生8名が御参加頂いた。こういった活動の中で、兵庫23期の水守先生は当科の研究生になって下さり、地域での臨床研究論文を多数書かれておられる。また、神奈川27期の高佐先生、32期の高畑先生のお二人は、やはり研究生となってはるばる月に何回かは当科に研修に通っておられ、気管支鏡の検査などにも実際に入り、また、臨床研究の発表、論文作成も行ってきている。

また、近年は各県からの自治医大への後期研修のハードルが高くなっているが、そういった中から、この会での交流がきっかけとなって現在、山梨県の柿崎先生が当科で研修中であり、研修のきっかけを作った山梨9期の宮下先生には大変感謝している。宮下先生は昨年も34期の川口先生を伴って御参加頂いたが、今年は18期の深澤先生もつれてきて頂き、大変有難く思っている。呼吸器内科専門医は、循環、消化に比べて日本では、何故か大変少なく、約2/3位の数である。しかるに、呼吸器疾患の患者さんの数はきわめて多く、呼吸器内科医は地域で大変不足し、ひっぱりだこの現状がある。是非共、こういった会を通して、地域の卒業生の皆さんとお会いして、交流を深め、研修の場として当科を活用して頂きたいと思う。当科の方でも、茨城卒のOB中山を中心に、COPDのコホート研究を卒業生の皆さんと地域で行うプロジェクトを立ち上げており、こちらからも地域に出向き、地域のOBの先生方と共同研究することを進めている。このような双方向性の良い関係を多数の場所で作っていき、自治医大の中の我々と、外のOBの先生方との両方のメリットを構築していくのが夢である。是非これからも、この会を続けていき、face to face の関係を作って卒業生の皆さんと楽しく仕事出来ることを願っています。来年も東京で開催致しますので是非、御参加下さい。よろしく願い申し上げます。



地域医療と循環器病懇話会 2014

- 自治医科大学のさらなる発展を目指して -

自治医科大学循環器内科 荻尾七臣

毎年春に循環器系最大の学会である日本循環器学会総会が行われますが、今年は本学学長である永井良三先生が会長をお務めになり、3月21日～23日まで東京国際フォーラムを中心に盛大に行われました。

当科では、2010年から循環器学会総会に合わせて『地域医療と循環器病懇話会』を開催しております。我々大学で診療・研究を行うスタッフと全国で循環器診療を中心に活躍する本学卒業生との情報交換の場を持つことが、お互いの発展に大変有益であろうと考えるからです。過去の懇話会では、大学院生の先端的な基礎研究や、附属病院循環器センターで行っている先進医療の紹介、そしてへき地診療所や地域の医療機関で頑張っている臨床研究の発表などを行い、お互いに循環器診療・研究に対する熱い思いを共有する良い機会になってきました。

今年度は、自治医科大学循環器内科学教室が開設されて40年が過ぎたことを踏まえ、この会をさらに発展させるべく、『自治医科大学循環器内科 同門会構築に向けたキックオフミーティング』とも位置づけて、3月22日(土)に品川プリンスホテルにて開催致しました。教室創世記からの同門の先生方に広くお声をかけさせて頂いたところ、初代主任教授の細田瑛一先生、先代主任教授の島田和幸先生をはじめ、総勢80名の皆様にご参加頂くことができました、大変盛大かつ有意義な会となりました。

今回は通常の懇話会とは違い研究発表は行いませんでしたが、まず私から「自治医科大学循環器内科の診療、教育、研究の現状と今後の方向性」と題した発表を行いました。教室の標語である「創新」を目指した臨床と研究、教育、そして、最も重要視している「地域医療への貢献」に向けた取り組みを紹介いたしました。その後、細田瑛一先生には自治医科大学創世記からの逸話をまじえて、循環器内科医として重要な考え方、診療に望む姿勢とはかくあるべしという、厳しくも暖かい細田節を拝聴することができました。島田和幸先生からは、20年の長きにわたり教室を発展させてきた経験を踏まえ、現在地域医療を担う病院の院長としての取り組みをお話し頂きました。続いて議事に移り、次年度以降も今回のように同門の先生方や卒業生と現教室員が幅広く交流する機会として継続していくことを確認しました。

懇親会は、それぞれのテーブルで終始非常に和やかな雰囲気の中で進み、昔話にも花を咲かせ、楽しい一時を過ごすことができました。時間があっという間に過ぎてしまい、すべての先生方と十分にお話しすることができなかったのが唯一の心残りです。今後もこのような会を通じて、同門の先生方や全国で診療、研究に勤しんでいる先生方と世代を超えて良好な関係を構築し、より大きな社会貢献ができる教室に発展させていきたいと思っております。ぜひ次の機会には、さらに多くの皆様にご参加下さいますよう、宜しくお願い致します。



!! 地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集 !!

地域医療オープン・ラボでは、自治医大の教員や卒業生の研究活動を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。
<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介ください
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先:地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

[発行] 自治医科大学大学院医学研究科
地域医療オープン・ラボ運営委員会
事務局 学事課大学院係 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL 0285-58-7477/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>